

シロナガスクジラ

シロナガスクジラ（学名：Balaenoptera musculus）は、史上最も大きな動物の 1 つです。シロナガスクジラは、体長 32m、体重 200 トンまで成長することがあります。このクジラは、ミンククジラと同様に、ケラチンでできたブラシのような鯨ひげを使って、毎日数トンのオキアミを濾して口に運んでいます。釧路市立博物館に展示されている下あごの骨の長さは 6.7m です。この下あごの骨を有していたクジラの体長は、25m ほどだったと考えられます。

このあごの骨は、50 年以上前に行われた遠洋捕鯨によるものです（シロナガスクジラの商業捕鯨は 1966 年以降中止されています）。過去には、釧路や北海道東海岸のその他の場所に拠点を置く企業が捕鯨を行っていました。この地域では、小規模な商業捕鯨が 2019 年に再開されましたが、シロナガスクジラはなお保護種となっています。